

2016年12月期第2四半期 決算説明資料

株式会社RS Technologies
東証マザーズ：3445

1

12. Aug. 2016



注意事項

- 当該資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営を取りまく様々な環境の変化により、予告なしに変更される可能性がございます。
- 本発表において提供される資料ならびに情報の中には「見通し情報」が含まれております。これらの情報は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実際には異なる結果となる不確実性を含んでおります。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- 資料中で「生産能力」についての記載は、全て当社グループの“300mm再生ウェーハ”の能力を指しております。

2

12. Aug. 2016



目次

投資家の皆様へ	P. 4 - 5
2016年12月期第2四半期決算情報	P. 6 - 9
中・長期的な経営方針	P. 10-14

投資家の皆様へ

①

当社は、より一層の発展・拡大のため、
東証1部へ市場変更を目指しております。

②

株主の方への還元策の1つとして、
株主優待を実施します。

2016年12月期第2四半期 決算情報

2016年12月期第2四半期決算情報 ☆ サマリー ☆

第2四半期はおおむね事業計画の進捗通り業績は推移しており、
売上高・営業利益は本業の売上が堅調に推移したため、計画を超過。
経常利益は6月後半の急激な円高(一時1ドル=99円台)の影響を受け、
外貨建て資産・負債の評価損320百万円を計上。

(外貨建て資産・負債の評価は毎四半期末ごとに洗い替えます。)

単位：百万円

	2016年12月期 第2四半期	2015年12月期 第2四半期	前期比	2016年12月期 第2四半期 事業計画 (2016年1~6月)	進捗率
売上高	3,877	2,475	156.7%	3,196	121.3%
営業利益	506	608	83.2%	454	111.4%
営業利益率	13.1%	24.6%	▲11.5pt	14.2%	-
経常利益	156	582	26.8%	414	37.7%
経常利益率	4.0%	23.5%	▲19.5pt	13.0%	-
当期(四半期) 純利益	65	235	27.8%	217	30.0%

2016年12月期第2四半期決算情報 ☆ 会社別 ☆

■ 台湾子会社(台湾)において、第2四半期は人件費・減価償却費等の固定費を吸収できず損失を計上。但し、6月単月では既に固定費を回収するだけの売上高を記録。

■ RS Tec(日本)では、3Dフラッシュメモリーやファンドリー顧客からの旺盛な需要に応え、好調を維持。台湾子会社の損失をカバー。

単位：百万円

	RS Tec (日本)	台湾子会社 (台湾)	連結消去	連結合計
売上高	3,623	302	▲48	3,877
営業利益	710	▲193	▲11	506
営業利益率	19.6%	-%		13.1%
経常利益	513	▲339	▲18	156
経常利益率	14.2%	-%		4.0%
当期(四半期) 純利益	318	▲281	▲10	65

増収の主な要因

ウェーハビジネスの売上好調によるもの

大手半導体メーカーからの旺盛な需要に応じ、三本木工場稼働率は想定を上まわる。300mmウェーハ出荷増（前期比30%増）や1枚当たり単価も値上げの影響があり、売上高は好調に推移。

減益の主な要因

外貨建て資産と負債の評価損

- RSTec（日本）は外貨USD建て売掛金が“2016/6下旬に発生した急激な為替相場の円高を受けて 約140（百万円）の評価損。
- 台湾子会社（台湾）は外貨建て債務・借入金が為替相場の円高で約180（百万円）の評価損。

中・長期的な経営方針

中・長期的な経営方針

- ①台湾子会社新設・三本木工場増設による生産力拡大
- ②再生市場での当社のシェア拡大
- ③伸長する需要の取込み
- ④潜在的な再生市場の開拓
- ⑤中国半導体マーケットへの参入

11

12. Aug. 2016

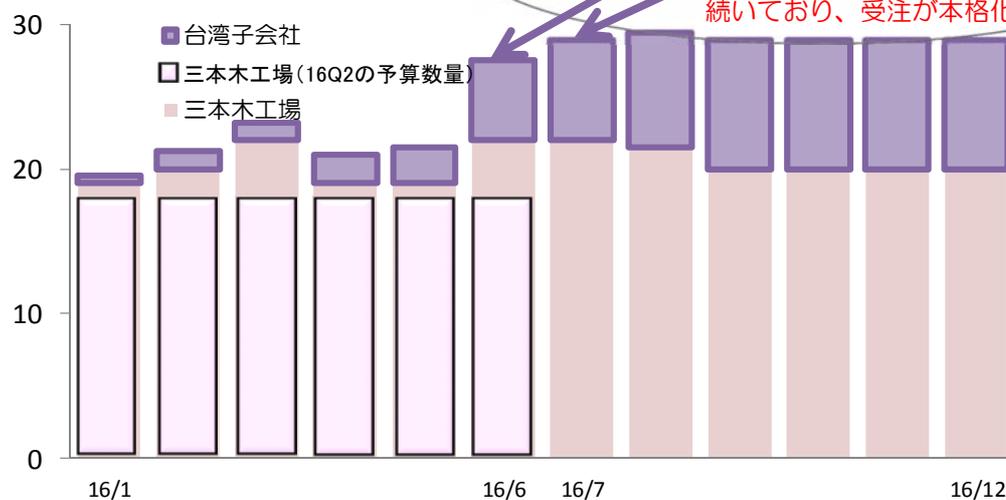


台湾子会社新設・三本木工場増設による生産力拡大①

～台湾子会社と三本木工場300mmウェーハ出荷枚数推移～

●2016年●

万枚



台湾子会社について

- ◇6月・・・単月で利益。
- ◇7月以降・新規の顧客認定が続いており、受注が本格化。

2016/1～2016/7は実績。2016/8以降は見込数値となります。

12

12. Aug. 2016



中・長期的な経営方針

①台湾子会社新設・三本木工場増設による
生産力拡大

②再生市場での当社のシェア拡大

●今回のトピックス●

③伸長する需要の取込み

④潜在的な再生市場の開拓

⑤中国半導体マーケットへの参入

13

12. Aug. 2016



「再生市場での当社のシェア拡大」

	2015年上期	2015年下期	2016年上期	2016年下期
当社グループ 生産能力	18 万枚	24 万枚	28 万枚	≧30万枚 目標
当社グループ シェア	19%	24%	29%	≧30% 目標

上図の生産能力 及び シェアは、すべて「当社」調べとなります。

中期的に40%のシェアを目標としています。

14

12. Aug. 2016

